

喜劇 女は度胸（1969）

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 日本
色彩 Color
時間 91分
初公開日 1969/10/01
公開情報 松竹

【解説】

山田洋次の原案を大西信行と森崎東がシナリオ化し、森崎が初めて監督を務めたコメディ作品。倍賞美津子の第一回主演作品としても知られる。

自動車整備工場で働く桃山学は、読書とクラシック音楽鑑賞が趣味で、夜間大学で勉学に励む真面目な青年だった。父の泰三は怠け者で女好き、兄の勉吉はトラックの運転手で女好きだった。二人は仲が悪く、会えばいつも喧嘩ばかり。そんな二人に呆れ果て、母のツネは家族に関心を示さなくなった。学は三星電気で働く白川愛子に恋をし、ゲーテの詩集をプレゼントする。しかし数日後、酔った勉吉がその詩集を持って帰ってきた。コールガールが持っていたというのだ。学はショックを受けたが、真相を知るため、そのコールガールと連れ込み旅館で会う約束をする。

【クレジット】

監督 森崎東
製作 上村力
原案 山田洋次
脚本 大西信行
森崎東
撮影 高羽哲夫
美術 熊井正雄
編集 浦岡敬一
音楽 山本直純
出演 倍賞美津子
沖山秀子
河原崎健三
清川虹子
有島一郎
渥美清